

元気はつらつ、 笑顔でクッキング

参加者の平均年齢は、約71歳。御影北ふれあいのまちづくり協議会が主催している「男の料理教室」は御影北部在住の男性が対象で、月に1度、毎回およそ20名が参加しています。

料理講師の山本さんによる実演の後、グループにわかれて調理をおこないます。和気あいあいとした雰囲気の中、役割分担を決め、実に手際よく、75歳とは思えないくらいいきいきと料理に取り組む姿がとても印象的。完成後の、みんなそろってのお食事タイムもなごやかに楽しそうでした。

「スタートから6年目を迎え、みなさんの料理の腕前も上がりました。これからは、地域のお祭りで手作りのお菓子などを販売できたらいいなと考えています」と話してくださったのは、この料理教室を主宰する高田さん。この集まりをきっかけに、地域活動の輪がどんどん広がっていきそうです。



ただいま、絶賛調理中！



まず、講師が実演。つくりかたに注目！



新鮮な素材を使って



料理を味わいながら、交流の時間



料理が完成、おいしそう

シニア男性による地域での取り組みは、まだまだ他にも。

地域に貢献、おやじの青春！



ひがしなだ おやこ科学教室

ロケットの仕組みを考える科学実験、人形劇、身近な材料を使ったおもちゃ作りなど。役に立つことを子どもたちに知ってほしいと願う「東灘おもちゃ工作隊」が主催している、小学生以上の親子対象の体験型イベントです。
(取材:Aチーム)

会議を重ねて、議論も深まる



地域で子育て元気アップ

児童館を中心に、子育て中のママさんとシニア世代が企画した交流イベント「～春を感じよう～スプリングフェスタ」。当日は地域の学生も参加、「みんなで咲かそう！ねがいの木」コーナーでは、参加者が壁に貼った梅の花が満開に。大勢の来場者でにぎわいました。(取材:Bチーム)

『omusubi』第2号編集チーム

A 田中良平 西町会館の芽生えをどう育てるか、注目です	竹内南 甲南大学 法学部 法学科2年	森下万里子 甲南大学 文学部 日本語日文学科2年
B 上山治夫 肩の力を抜いてシニアの地域参加をしよう！	北岡裕 東灘に生まれ育って66年、生涯現役で頑張りたい	
C 都築いく子 制作に参加してワイワイがやがや楽しいひととき	神前早紀 甲南大学 法学部 法学科3年	清水美里 甲南大学 法学部 法学科3年



だれも孤立しない社会をめざす、東灘区社会福祉協議会からのお知らせ

- ▶ 引きこもり世帯への支援
- ▶ 外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援
- ▶ 障がい者の居場所づくりとネットワーク化
- ▶ 「ゴミ屋敷」や孤立解消への支援
- ▶ 不登校の子どもたちへの支援
- ▶ 買い物困難になった地域への支援 など…

今までの制度やサポート体制では解決がむずかしかった課題に挑むために、東灘区社会福祉協議会では、地域の方々や専門機関と力を合わせて問題解決をめざすネットワークづくりを推進中。2014年度から「地域福祉ネットワークカー(コミュニティソーシャルワーカー)」を1名配置し、取り組みの事例集を発行しました。リニューアルしたWebサイトで閲覧、ダウンロードが可能です。

<http://www.higashinada-syakyo.or.jp/>



編集後記

人口減少と超高齢化が同時に進むこれからの社会では、地域福祉の担い手がますます不足するため、地域の団体による活動以外にも、だれもが参加できるさまざまな支え合いのカタチが必要になります。自分ができることから、できる範囲でスタートする。東灘区社会福祉協議会はこの『omusubi』を通して、さまざまな取り組みを伝え、ゆるやかな地域貢献活動<互助・共助>が新しい支え合いの仕組みとして機能していくことを願っています。(東灘区社会福祉協議会)

東灘区社会福祉協議会へのご寄付ありがとうございました。

(平成26年3月～平成27年2月)

- | | | |
|--------------|------------|---------|
| ・金丸一様 | ・嶋喜代子様 | ・平澤時代様 |
| ・神戸市生活指導研究会様 | ・株式会社トーホー様 | ・藤井嘉源太様 |
| ・キミ・ロイヤル甲南店様 | ・トーラク株式会社様 | |
| ・古谷恭子様 | ・野村悦子様 | (※五十音順) |



「omusubi」は、赤い羽根共同募金の寄付でつくられています。

omusubi

地域の手と手を結び、
できごとメディア
「おむすび」神戸・東灘
第2号
2015年3月末日発行

発行人……社会福祉法人 神戸市東灘区社会福祉協議会
〒658-8570 神戸市東灘区住吉東町5-2-1
TEL 078-841-4131(代表)
FAX 078-841-7999
メール mail@higashinada-syakyo.or.jp
http://www.higashinada-syakyo.or.jp/

企画・制作……デザイン・クリエイティブセンター神戸
編集・取材・執筆サポート……二階堂薫(コピーライター)
デザイン……和田武大(DESIGN HERO)
写真……神前早紀、北岡裕
スペシャルサンクス……ご協力くださった皆様

「おむすび」
神戸・東灘

2015.3

第2号

地域の手と手を結び、できごとメディア

omusubi

東灘区のまちや人、
心をつなぐできごとを
もっとわかりやすく伝えるために…
『omusubi』は誕生しました。

今回は、

趣味でつながる仲間がほしい、
何かで地域に貢献したい、
と日々考えているシニア男性に

知っておいてほしい、
さまざまな取り組みを特集します。
あなたもぜひ、参加してみませんか。

＼ もっと、もっと ／

シニア男性がキラリと輝く、東灘区に。

あなたは今、家族やこれまでの友人以外とつながる地域の活動に参加していますか？

そう問いかけるたびに「近所の人顔も名前もわからない」「女性の多い集まりに行くのは気が引ける」など、何かしたいと思いつつもなかなか行動に移せないシニア男性の声が、あちこちから聞こえてきます。

想像してみてください。個人的な趣味ではじめたことから仲間ができて、だれかが喜んでくれたり、気になることや解決すべき課題にみんなで挑んでいくことで、住みなれた地域がさらに暮らしやすいまちになったら…すてきですよ。

シニア男性が、それぞれの経験や特技をいかしてどんどん活躍できるまちに。東灘区社会福祉協議会は、お互いに声をかけあい、支えあえる地域づくりを応援しています。



落語家さんの話芸に大笑い！

ちょっと寄ってね、と呼びかけたら…

地区の地車(だんじり)を収蔵している、御影の西町会館。祭礼時の青年団の宿泊や地域住民の葬祭など…用途が限定されている中で活用方法を模索し、同会館を軸に活動をスタートさせたのが、西町地区自治会でした。

高齢者のひきこもり解消や独居事故の防止が急がれる中、2014年夏にクールスポットとして開いたところ、お休み処として利用されるように。囲碁・将棋・カラオケなどの娯楽要素を整え、「ちょっと寄ってね、西町会館」と記したチラシを地域で配布したのだとか。

この日は、ご高齢とは思えない男女40数人が「ラジオ体操の歌」を合唱し、号令に合わせて足腰を屈伸。その後、露の団六師匠が登場して客席とのかけあいを披露して、「子ほめ」の一席で会場は笑いに包まれました。なつかしい「瀬戸の花嫁」を合唱して、この日は終幕しました。「ちょっと寄ってみたら、ぎょうさん楽しかった」という声も多々、早くも今後の期待が寄せられています。

ちょっと寄ってね、西町会館

日時：6月～月1回開催予定 場所：御影・西町会館
主催：御影西町地区自治会
問合せ先：御影南部あんしんすこやかセンター
☎ 078-854-2180



大西さんのラジオ体操からスタート



自治会の杉本さんと島さん



いっしょに楽しむ参加者募集中

▲ omusubi ポイント!

世話役の思いが結集した同会の根底にあるのは、「私たちも、やがては地域のみなさんのお世話になるのだから」という思い。固い結束の絆となるのはやはり地車(だんじり)で、西之町地車は1927年の謹製。3代にわたる歴史を背負って、活躍し続けることでしょう。(取材:Aチーム)



だいすきな地元を、チームで見守り隊

地域で、役割を持って生きていく。

「本山ふれあい親父の会」は、2014年で10周年。退職後の時間を使って、自分たちも楽しみながら本山地域福祉センターを活用し、地域の活性化に貢献していくことを目的としています。

同会が主催している「男の料理教室」は、自分たちだけで料理ができるようになり、自立することをめざすもの。食材選びから調理のすべてを親父さんたちだけでおこなっています。さらに地域に根ざした貢献活動として、安全なまちづくりのための防犯パトロールも実施中。

地域のボランティア活動には、仕事の経験や特技を生かして、ひとつのことをやり遂げる達成感や充実感が満載。退職後も自分の役割を持ち、知らないことにも積極的にチャレンジしていく姿勢が大切なのだとか。メンバーの多くは同会だけでなく他のグループにも所属しており、日々さまざまな活動を楽しんでいるそうです。

本山ふれあい親父の会

本山ふれあいのまちづくり協議会の構成団体
主な活動：男の料理教室、地域の歴史研究、
地域祭り警備など

▲ omusubi ポイント!

主催している「小学生夏休みお泊まり会」や防犯パトロールで知り合った子どもたちが、まちなかで声をかけてくれるのだそうです。アクティブなシニア世代が地域で活躍することで、地域や異なる世代間の交流がさらに増えていくといいですね。(取材:Cチーム)



定例会では、今後の活動方針を話し合う



料理中は、真剣そのもの



史跡をめぐる、地域のよさを伝える

まずは地域で、仲間と始めてみませんか？

① 趣味や特技、やってみたいことで仲間をつくる!

- ▶ 男の料理教室 ▶ 健康ウォーキングの会
- ▶ レコードを聴く会

② 経験や特技、できることでだれかによるこばれる!

- ▶ 健康ウォーキングで、東灘の史跡を解説する
- ▶ 障がい児の通学や外出を支援する
- ▶ 使っていない家のスペースを高齢者の憩いの場に提供する など

③ さらに住みやすい地域にしていくチャレンジを続ける!

- ▶ 子どもの見守りパトロール
- ▶ 防災訓練や防災学習、災害弱者を支える
- ▶ 認知症の方を地域でみまもる
- ▶ お年寄りのごみ出し、電球の取り替えを支援する など

▲ 「omusubiポイント」とは?

シニア男性が趣味でつながったり、地域に貢献している活動を、外からの視点で見つめると? シニア世代と甲南大学の学生で結成された3つのチームによる、取材を終えての感想や今後の展望など。